

平成 29 年 12 月 25 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 山梨県立韮崎高等学校 坂本容崇 小宮麻里
2. 講師氏名: Viviane M. SAITO
3. 同行者氏名: 酒井 悠希
4. 実施日時: 平成 29 年 12 月 16 日 (土) 13:00 ~ 14:45
5. 参加生徒: 1 年生 38 人、 2 年生 36 人、 3 年生 10 人 (合計 84 人)
備考: (例:理数科の生徒) 1、2 年 SSH の生徒及び受講希望者
6. 講演題目: The fascinating world of Neuroscience: from microbes to behavior
「魅惑の神経科学の世界: 細菌から行動へ」
7. 講演概要: プロジェクターを使用しての、自身の略歴、及び神経科学についての研究内容。
心理学の分野から脳や神経についての研究についてイラストと自作の模型等で説明。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 20 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演、模型を使用しての説明
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート、本校英語職員による補足説明
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師の略歴と講演内容の要約を配付
10. その他特筆すべき事項:

講師の方の研究内容を、スライドを用いながら、とてもきれいな英語で説明をしていただきました。本校生徒には難しい研究内容を、分かり易く説明をしてもらったのですが、本校生徒の英語力不足と、生物の未履修領域が重なったため、講演を難しく感じた生徒もいました。他方、多くの生徒は講演内容に関心を示し、英語の国際性・実用性を実感しておりました。教員・生徒一同講師の方とサイエンス・ダイアログプログラムに感謝しております。